

地域とともに創る 持続可能な「学びのカタチ」

— ホンモノのPBL&実社会とつながる学びとは? —

子供たちが大人となり、日本を支える社会人として生活している20年後はどのような社会となっているのか。20年後の社会の中で様々なものと共存・共生していくためには、どのような力が必要なのか。

PBL型学習を通じて、まち全体を学習の場ととらえ、地域とともに創る持続可能な「学びのカタチ」について、是非、参会者の皆様と、共に考えたいと思っております。多くの方のご参加をお待ちしております。

《研究イメージ図》



公開授業アピールタイム!!! (12:45~ 体育館にて)

当日は、授業を4本公開します。
授業開始前に、それぞれの授業のアピールポイントをお伝えいたします。どの授業を参観するかは、その場でお決めください。そのポイントをもとにセッションIで共に語り合しましょう!

【セッションI】 13:45~ 公開授業となりの教室 —公開授業から見た「学びのカタチ」—

- 目指す児童像 「主体的に学び続け、他者と協働し、新たな価値を生み出すことができる児童の育成」
- 子供が授業を創る学習者主体となる授業になっていたか。
 - 質の高い対話的な学びとなっていたか。
 - 資質・能力を育てる授業が実践されていたか。
 - 実社会とつながる学びがデザインされていたか。

是非たくさんのご意見をお願いいたします。

【セッションII】 15:00~ 体育館 —朝倉 MT 発! 地域とともに創るPBLの実践紹介— —地域と創る 持続可能な「学びのカタチ」(トークセッション)—

【パネリスト】

Intel Teach Program Master Teacher
札幌市立伏見小学校
主幹教諭 朝倉 一民 氏

モデレーター 佐藤 悠樹 氏

文部科学省職員 / 教育・学びの未来を創造する
教育長・校長プラットフォーム事務局

セッションIIに参加してください!!
スマートフォンを利用して、御意見をお聞かせください。
参加方法に関する詳細については、当日連絡差し上げます。
※ スマートフォンでの参加は、任意となります。

【パネリスト】

インテル株式会社
教育事業推進担当部長 竹元 賢治 氏

【パネリスト】

文部科学省 コミュニティ・スクール推進員
杉並区立天沼小学校学校運営協議会委員
井上 尚子 氏